

Ⅲ 平成16年度農林水産予算の重点事項

1. 米政策改革の着実な実施等農業構造改革の促進

○ 産地づくり対策等の米政策改革関連施策の具体化

農業者・農業者団体の自主的取組により需要に応じた売れる米づくりを進めるとともに、構造改革の加速化及び担い手の育成・確保を図るため、地域の特色ある水田農業の展開及び豊作による過剰米の市場からの隔離を支援

【・産地づくり対策：1,651億円】

【・集荷円滑化対策のうち過剰米短期融資資金貸付金：75億円】

○ 担い手の育成支援、農地の利用集積、新規就農の促進等の総合的な推進

認定農業者等への農地の利用集積を加速する施策の推進、「農林業をやってみよう」プログラムに即した新規就農対策の充実

【・経営構造対策事業：177億円】

【・認定農業者農地集積促進事業：10億円】

【・新規就農・就業キャリア形成プログラム推進事業：6億円】

○ 農林水産物の輸出の促進に向けた総合的支援体制の確立

アジア諸国の経済発展に伴う所得の向上、海外における日本食文化の浸透等を踏まえ、高品質な農林水産物の輸出機会の拡大、産地・生産者の取組の支援

【・農林水産物貿易円滑化推進事業等：3億円】

【・日本産ブランド輸出促進事業：1億円】

【・ブランド・ニッポン農産物販路拡大支援事業：4億円】

○ 水利施設の効率的な管理のための条件整備

農業用水利施設について、既存ストックの有効活用を図りつつ、水利用の効率化を図る取組を支援

【・新農業水利システム保全対策：１００億円】

【・地域水田農業支援排水対策特別事業：４３億円】

○ 畑地転換、土づくりなどの取組を支援するためのきめ細かな条件整備

地域の主体性を活かした農地の条件整備を機動的かつ緊急的に実施

【・地域水田農業支援緊急整備事業：８５億円】

【・水田利活用緊急支援事業：５０億円】

○ 畜産環境対策の促進、和牛繁殖経営地域の活性化・育成

家畜排せつ物処理施設の緊急的かつ計画的な整備の促進を図るとともに、和牛繁殖経営地域の活性化等のための担い手、優良種畜、飼料基盤の確保対策を総合的に推進

【・家畜排せつ物処理のための施設等の整備：２３７億円の内数】

【・和牛のみなもと再生・強化対策：２０億円の内数

（その他畜産担い手育成総合整備事業：８７億円の内数）】

○ バイオマス、ゲノム等産業実用化を促進する技術開発の実施

イネゲノムの解読成果等を早期に実用化・産業化するための民間研究の促進、地域のニーズを反映した研究領域の設定等の競争的研究資金の活用

【・アグリバイオ実用化・産業化研究：１０億円】

【・先端技術を活用した農林水産研究高度化事業：３０億円】

2. 食の安全・安心の確保と食品産業の活性化

○ 食品の安全・安心の確保に向けたリスク管理・表示の適正化の一層の徹底

農薬等生産資材の安全性の確保、農産物等に含まれる有害物質等対策、家畜防疫体制の強化等により、安全・安心な農畜産物の供給を確保するとともに、食品表示の監視指導やJAS規格の普及啓発等を推進

【・農薬的資材リスク情報収集事業：2億円】

【・家畜防疫体制の強化：12億円】

【・食品表示・JAS規格の適正化の推進：5億円】

○ 信頼性の高いトレーサビリティシステムの開発・実用化の推進

食品のトレーサビリティシステムについて、信頼性の高いシステムの開発・実用化を推進

【・トレーサビリティシステム開発事業：4億円】

【・トレーサビリティシステム導入促進対策事業：19億円】

【・米生産流通履歴情報システム導入支援事業：1億円】

○ 国民生活の基礎である「食」を健全なものとするための「食育」の展開

家庭・教育現場、地域における「食」に関する普及・啓発、体験・交流活動等を通じて、「食」に対する理解や関心、「食」を選ぶ力を育む「食育」を、国民運動として、関係府省との連携の下、総合的に推進

【・「食育」活動の推進：83億円】

○ 消費者等とのリスクコミュニケーションの推進

消費者・生産者・事業者などの関係者にわかりやすい情報の積極的な提供、意見交換に努め、関係者の意向が施策に反映されるよう取組を推進

【・消費者等とのリスクコミュニケーション：4億円】

○ 国内農林水産業との連携による食品製造業の活性化

地域ブランド食品の製品化・事業化等を促進するため、地域の食品製造事業者と農業生産者等の連携、食品企業と技術シーズ（研究開発成果、ノウハウ等）を有する者の共同による技術開発等を支援

【・食品産業機能高度化推進事業：3億円】

- 卸売市場の整備の抜本見直し、無線で情報をやり取りする電子荷札（無線ＩＣタグ）等新技術の活用等による食品流通の効率化

「安全・安心」で「効率的」な食品流通への転換を図るため、卸売市場の整備の見直し（ＨＡＣＣＰ的な管理・ＰＦＩの導入を原則義務化）を図るとともに、無線ＩＣタグ等新たな物流技術の活用による食品流通の効率化を促進

【・卸売市場施設整備事業：６０億円】

【・物流新技術を活用した食品流通効率化対策：１億円】

３．都市と農山漁村の共生・対流の促進

- 風格ある美しい農山漁村づくり

地域が策定する計画の下に、地域住民等のむらづくり活動への主体的な参画等の支援と併せて環境の整備を行い、モデル的な美しい農山漁村づくりを推進

【・風格ある美しい農山漁村づくりの推進：６６２億円の内数】

- 観光立村の推進

「美しい農山漁村づくり」を進めつつ、グリーン・ツーリズム（農山漁村で楽しむ余暇活動）などの施策と一体的に、外国人旅行者等も訪れる農山漁村資源を活用した「一地域一観光」の取組を支援

【・観光立村の推進：１億円】

- バイオマスの収集・変換・利用システムの構築、利活用の高度化等の促進

「バイオマス・ニッポン総合戦略」に基づく資源循環型社会の構築に向け、地域バイオマスの収集・変換・利用システムの構築、先進的・モデル的な食品リサイクルやエネルギー源としてのバイオマス利活用の高度化等を促進

【・バイオマス・ニッポン総合戦略の推進：２６６億円

うち バイオマスプラスチック利活用のためのモデル事業：１２億円】

4. 森林・林業政策の展開 ～ 多様で健全な森林の整備・保全 ～

○ 多様で健全な森林の整備・保全等を通じた地球温暖化防止

林野公共の長期計画を統合するとともに、森林法の見直しに併せた管理不十分な森林の整備、間伐、複層林化や針広混交林化、山地災害防止等を効率的・重点的に実施

【・森林整備事業・治山事業：3, 172億円】

○ 今後の森林整備を支える林業の担い手の確保・育成

緑の雇用担い手育成対策など、今後の森林整備を支える林業の担い手の確保・育成対策を推進

【・緑の雇用担い手育成対策事業：70億円】

【・森林組合等経営基盤強化対策事業：1億円】

○ 大規模需要者のニーズに対応した地域材の新しい流通・加工システムの構築等による木材利用の推進

効率的な素材生産・原木流通システムの構築や製材工場の再編をモデル的に実施し、集成材・合板向けの地域材利用を促進するとともに、木質バイオマス利活用施設の整備を促進

【・地域材の新しい流通・加工システムの確立対策：14億円】

【・木質バイオマスエネルギー利用促進事業：11億円】

○ 里山林の再生・整備、国民参加の森林づくり等による美しく住みよい山村づくりの推進

NPO等による里山林の再生・整備、経験豊かなボランティア団体や漁業者を含む多様な主体の参加による森林づくりの推進、地域主体の景観づくり活動による美しく住みよい山村づくりの推進

【・ふるさとの森再生対策：864億円の内数】

【・国民参加の緑づくり活動推進事業：4億円】

5. 水産政策の展開 ～「海の恵み」の持続的な利用の推進～

○ 資源管理の徹底等による「海の恵み」の持続的な利用

科学的知見に基づく資源管理の徹底、沿岸域における豊かな環境の創造や
つくり育てる漁業の推進

【・我が国周辺水域資源調査等推進対策：20億円】

【・豊かな海の森づくり事業：252億円】

【・水産資源増殖ブランド・ニッポン推進対策事業：13億円】

○ 技術革新の推進等による収益性の高い魅力ある漁業の確立

経営改善漁業者等の担い手漁業者に対する漁船リース事業等を推進すると
ともに、青色発光ダイオードのイカ釣り漁業への活用などコスト削減、省エ
ネ化等に資する技術の開発・実用化を促進

【・担い手確保・育成漁船建造等推進事業：3億円】

【・水産技術革新対策：10億円】

○ 衛生面に配慮した生産・供給基盤の整備等による消費者の求める水産物の 生産・供給

岸壁から発生する汚水の浄化施設をはじめ衛生管理を的確に実施できる漁
港等の整備、水産加工場におけるHACCP導入の加速化

【・地域水産総合衛生管理対策推進事業：326億円】

【・水産物安全・安心推進強化事業：2億円】

○ 漁村の総合的な整備等による豊かで活力ある「浜」づくり

離島等の条件不利地域において、地域住民等の意見等を反映した計画を基
に、地域が主体となった漁村づくりの推進、地域住民が景観保全に取り組む
地区における景観形成等に資する施設整備の推進

【・漁村づくり総合整備事業：21億円】

【・新漁村コミュニティ基盤整備事業：21億円】